



研究活動一覧

「研究活動一覧」は当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
相川良彦	定年帰農文学について——芥川賞との対比でみる 2004 年度農民文学賞の世界——	文化連情報 316	2004. 7
相川良彦	文法諸形式からみた「農業雑誌短歌」の心情分析	農民文学 2004 朱夏号	2004. 8
明石光一郎（共著）	改正 JAS 法の虚偽表示抑止効果についての考察	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料 1）	2004. 6
明石光一郎	日本の農業交渉力に関する一考察——対中セーフガードを事例にして——	東北農業経済研究 22（2）	2004. 8
足立恭一郎	（書評）本城昇『日本の有機農業——政策と法制度の課題——』	土と健康 362	2004. 7
市田知子	国産牛肉「トレーサビリティ・システム」の安全性保証と品質保証	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料 1）	2004. 6
市田知子	ドイツの牛肉トレーサビリティ事情	デーリイマン 54（9）	2004. 9
江川 章	農業研修の動向と今後の課題	農林水産政策研究所レビュー 13	2004. 9
香月敏孝	果実の流通コストと価格形成——みかんを中心に——	農林水産政策研究所レビュー 13	2004. 9
河原昌一郎	中国の農業法制について	食品流通システム協会会報 59	2004. 8
河原昌一郎	中国の食品安全制度の動向	農林経済 9638	2004. 9
木下順子（共著）	消費者不安をともしなう食品関連新技術導入による農産物需給への影響分析——乳牛の乳量増加ホルモン剤（rbST）の事例——	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料 1）	2004. 6
小島泰友	アーカンソー州とカリフォルニア州を中心とするコメ生産・流通の実態	東京穀物商品取引所 コメ研究会報告書・参考資料	2004. 7
小島泰友	コメの価格変動と季節変動性	東京穀物商品取引所 コメ研究会報告書・参考資料	2004. 7
近藤 浩	米国動物衛生行政のトレーサビリティシステムをめぐって	農林水産政策研究所レビュー 13	2004. 9
櫻井武司	アフリカ——国際共同研究の動向と課題——	『21 世紀の国際共同研究戦略の構築』（国際農林水産業研究センター編）	2004. 7
佐藤京子・西尾 健	戦後から現在までのわが国の食品安全に関する事例とその変遷および特徴	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（危機管理プロジェクト研究資料 1）	2004. 6

研究員名	表 題	発表誌，巻・号	発表年月
清水純一・佐藤孝一 (他共著)	農協の農業融資に関する調査	総研レポート 16(4)	2004. 8
鈴村源太郎	認定農業者の経営改善支援	全国農業新聞 8月6日	2004. 8
高橋克也	生産流通情報におけるフードチェーンの情報ニーズと開示対応	農林統計調査 9月号	2004. 9
立川雅司	Changes in the Trade Pattern and Regulations of Genetically Modified Soybean	Farming Japan 38(4)	2004. 8
橋詰 登	中山間地帯における人口動態と農村構造の将来展望	平成 15 年度中山間地域整備手法検討調査報告書(日本アグリビジネスセンター)	2004. 3
橋詰 登	中山間地域の農業集落が消えていく	デーリイマン 54(9)	2004. 9
林 岳	直接支払いの効果と多面的機能の定性的評価の必要性	ニューカントリー 9月号	2004. 8
林 岳(共著)	勘定体系による農道整備事業の評価	日本計画行政学会第 29 回大会報告要旨集	2004. 9
林 岳	地域における第 1 次産業の持続可能な発展に関する分析——北海道地方を事例とした環境・経済統合勘定の構築・推計——	環境経済・政策学会 2004 年大会報告要旨集	2004. 9
藤栄 剛	新規参入者の定着過程に関する計量分析——就農・自立——	平成 16 年度日本農業経営学会大会報告要旨	2004. 7
藤栄 剛(共著)	全国アンケート調査結果からみた合鴨稲作への取組の特徴	合鴨通信 39	2004. 7
堀越孝良	明治期における食品安全制度の概要——食肉政策を中心として——	食料・農業の危機管理に関する社会科学的研究アプローチ(危機管理プロジェクト研究資料 1)	2004. 6
薬師寺哲郎	我が国の食料品の流通コストは高いのか——産業連関表にみる商業マージン率——	農林経済 9636	2004. 8
矢部光保・嘉田良平 (他共著)	食の安全と安心に関する消費者意識の計量分析——トレーサビリティと遺伝子組換え食品に関するインターネット調査——	食料・農業の危機管理に関する社会科学的研究アプローチ(危機管理プロジェクト研究資料 1)	2004. 6
山本昭夫・伊藤正人	FAO 植物遺伝資源条約の発効を迎えて(第 1 報)——植物遺伝資源条約と生物多様性条約——	育種学研究 6(3)	2004. 9
山本昭夫・伊藤正人	FAO 植物遺伝資源条約の発効を迎えて(第 2 報)——「るつぽ」としての生物多様性条約——	育種学研究 6(3)	2004. 9
吉井邦恒・吉田泰治・勝又健太郎	農林水産省の政策評価と政策体系化——食料・農業・農村政策に関する政策ツリーの提案——	「公共政策の決定に伴う多元的総合評価システムの構築に関する学際的基礎研究」研究成果報告書(平成 14 - 15 年度科学研究費補助金基礎研究(B)(2))	2004. 7
吉井邦恒・吉田泰治	農業共済金が地域経済へ与える影響について——産業連関分析による試算結果——	月刊 NOSAI 56(9)	2004. 9

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
會田陽久	韓国の農業と対日農産物貿易の動向	第 40 回東北農業経済学会秋田大会	2004. 9. 3

明石光一郎	予防原則批判論文の検討	日本農業経営学会	2004. 7.18
足立恭一郎	食・農・環境の腐蝕	特殊講義（埼玉大学経済学部）	2004. 9. 9
河原昌一郎	中国の農業政策について	日本農業機械工業会国際委員会セミナー	2004. 9.10
久保香代子・吉井邦恒	コメのカドミウム基準値に関する規制インパクト分析——フレームワークと費用分析を中心に——	第40回東北農業経済学会秋田大会	2004. 9. 3
櫻井武司 ほか	Farmers' Climate Risk Management and Household Vulnerability in the Dry Savannah of West Africa —— Case of Study of Southern Mali ——	International Symposium on Food Production and Environmental Conservation in the Face of Global Environmental Deterioration（日本農業気象学会）	2004. 9. 8
櫻井武司 ほか	Improved Seeding Strategies in Response to Variability in the Start of the Rainy Season in Mali, West Africa	International Symposium on Food Production and Environmental Conservation in the Face of Global Environmental Deterioration（日本農業気象学会）	2004. 9. 8
清水純一	農協の農業融資に関する調査結果の概要	農協の農業融資に関する調査報告会（農林中金総合研究所）	2004. 7.20
立川雅司	遺伝子組換え作物を巡る内外の情勢について	「遺伝子組換え食用作物の栽培規制のあり方」意見交換会基調講演（岩手県農林水産部）	2004. 7. 9
立川雅司	Japanese Agricultural Cooperatives —— Legacies and Challenges ——	XI World Congress of Rural Sociology（Working Group 23）	2004. 7.26
立川雅司	Towards a Sociology of Trust on Food —— Basis of Our Trust on Domestically-Produced Food ——	XI World Congress of Rural Sociology（Working Group 23）	2004. 7.27
西尾 健	食料・農業・農村の展望	千代田フォーラム	2004. 5.19
橋詰 登	センサスデータを用いた農業構造分析の視点と手法	平成16年度近畿農政局統計専門職員研修	2004. 9.13
林 岳	農林水産業における環境会計導入の課題	農業生産活動の環境影響評価に関するFS研究会	2004. 8. 5
松久 勉	東北における最近の人口動向	第40回東北農業経済学会秋田大会	2004. 9. 3
山本昭夫	FAOのITPGR（植物遺伝資源条約）と利益配分	MRIのABSセミナー——ABS（遺伝資源アクセスと利益配分）の利益配分をどのように具体化するか？——（三菱総合研究所）	2004. 9.14
吉井邦恒	政策評価と経営管理について——日米の農業保険をめぐって——	組合等経営指導者養成研修会（全国農業共済協会）	2004. 7. 5
吉井邦恒・吉田泰治	共済金が地域経済に与える効果——産業連関分析に基づく地域経済への影響——	平成15年産水稻等農業共済金が地域経済に与えた効果の研究成果報告会（全国農業共済協会）	2004. 7.27
吉井邦恒 ほか	わが国の食料安全保障戦略分析のための数理モデルの構築	第23回日本自然災害学会学術講演会	2004. 9.13
渡部岳陽	水田農業構造改革の推移と展望	第40回東北農業経済学会秋田大会	2004. 9. 3